

ふるさと応援寄附金の 実績を報告します

平成30年度、飯南町へいただいたふるさと応援寄附金は、過去最高額の1億4188万円余りとなりました。全国各地の方々から多くの支援をいただきました。

平成30年度に寄附金を活用して実施した主な事業

- 森の保育所
 - 小学校へのタブレットパソコンの配布
 - 「いっしょにん森の恵み」林活プロジェクト
 - 高齢者緊急通報システムの設置
 - 大しめ縄の町ブランドの推進
 - 移住相談会・移住体験ツアー
- 今年度も、寄附者の皆さんの想いを大切に、飯南町のまちづくりのために有効に活用していきます。詳しい内容は、町のホームページに掲載しています。



森の保育所

平成30年度事業別寄附状況

事業名(使いみち)	寄附金額	寄附件数
産業振興及び観光振興	35,200,000	4,869
定住の推進	5,680,000	
島根県立飯南高等学校の特色ある教育の支援	7,170,000	
将来を担う人材の育成	24,385,000	
高齢者等にやさしい福祉	10,990,000	
安心な地域医療	7,270,000	
環境を守る森づくり	13,300,000	
事業指定なし	37,890,000	
合計	141,885,000	

寄付者へのお礼の品・特産品 協賛事業者を募集中!

【応募条件】町内で製造・加工・販売等がされている特産品で、町の魅力を伝え、PRできるもの
※応募内容等は、ホームページ、または担当課へお問い合わせください。

■問合せ
地域振興課 電話76・2864

まちを元気に! 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介。

今月は、森林セラピーを担当する板木ひろみ隊員の活動報告です。



森林セラピーの様子

加いただき、飯南町の自然の癒し効果を実感してもらえたことが本当にうれしかったです。これからは、森林セラピーが町民の健康に役立ち、誰からも「町の誇り」と言われるように、事業に携わっていきます。

セラピー以外にも、出雲風土記に「飯南にムラサキあり」と記述があったことから「ムラサキ草」の栽培を試みました。育ててみると、飯南町のクロボク土と高原気候との相性が良く、育った紫根は「高級品」と実証されました(島根県産業技術センターの成分分析)。今後商標登録と商品化を目指し、ゆくゆくは新たな町の資源になればと考えています。

私は任期終了後もクラインガルテンに住み続けます。これからもよろしく願います。



栽培した紫根

楽しいっばい! 図書館探検

飯南町立図書館

夏休みは図書館へGO!

7/25(木)~8/31(土)

今年も暑い夏がやってきました!そして子どもたちには嬉しい夏休み♪
プールに旅行、海水浴も良いけれど、図書館でも楽しい企画をご用意しています。皆さまの来館をお待ちしています。

展示「海外の絵本作家たち」

外国の人気作家を、代表作の絵本とともに紹介します。
海外ならではのストーリーや色使いにも注目です!

「海外常識クイズ」

日本の常識は世界の非常識!!
日本と文化や習慣が違う外国の常識をクイズ形式で学ぼう!

「夏休み限定ポイントカード」

貸出し本1冊につき、1ポイント貯まります。(他にも条件あり)15ポイントで粗品と交換。

「宿題お助けコーナー」

自由研究や工作のヒントになるような資料を集めています。その他、必要な資料があればいつでもお探します。気軽に声を掛けてください。



飯南町立図書館オリジナルキャラクター「ぶっくん」

第1回総合振興計画等 策定委員会を開催

7/1月



策定委員会は地域住民と有識者、町職員で構成されています

町の上位計画である第2次総合振興計画(後期計画)と総合戦略の策定に向けて「第1回総合振興計画等策定委員会(委員長 信藤 郎さん)」を開催しました。

今回は、昨年度事業の報告と意見交換を実施。委員からは「事業の周知が弱い。雇用の確保を強化する必要がある」などの意見がありました。

今後は、アンケート調査やキーパーソンヒアリングなどを行います。皆さまのご意見も随時お待ちしております。

■問合せ
企画財政課 電話76・3941

kikaku@inan.jp

新しい医師を紹介

7月1日付けで、飯南病院へ着任した木田川 幸紀(きたがわ こうき)です。

飯南町は初めてなので、地域のことも勉強していきたいと思っています。病院や街中で見かけたら声を掛けてください。



医師 木田川 幸紀